

大会長基調講演・記念講演・教育講演

大会長基調講演

第1会場（10階 1003） 8:35～8:55

大阪府理学療法学会大会の歩みと次代への継承

村西 壽祥（第30回大阪府理学療法学会大会大会長、大阪河崎リハビリテーション大学）

第30回大会記念講演

第1会場（10階 1003） 8:55～10:05

次代を担う理学療法士へ ～PT タケトミが伝えたいこと～

武富 由雄（神戸大学名誉教授、愛仁会リハビリテーション病院名誉顧問）

教育講演

第1会場（10階 1003） 15:40～17:00

臨床における教育・研究の未来 ～始点である臨床実習の転換～

中川 法一（公益社団法人日本理学療法士協会理事、増原クリニック副院長）

大会長基調講演・記念講演・教育講演は、第2会場（10階 1001-2）にてライブ中継を行います。

シンポジウム「次代を担う ー臨床・教育・研究ー」

シンポジウム 次代を担う ー臨床ー「臨床の視点 高まる臨床能力」

第1会場 (10階 1003) 14:10~15:30

座長 森 憲一 (大阪回生病院)

シンポジスト 羽田 晋也 (星ヶ丘医療センター)

宝本 圭二 (協和会病院)

シンポジウム 次代を担う ー教育ー「理学療法士の魅力が伝わる臨床教育」

第1会場 (10階 1003) 12:40~14:00

座長 射場一寛 (清恵会第二医療専門学院)

シンポジスト 池田 耕二 (大阪行岡医療大学)

都留 貴志 (市立吹田市民病院)

シンポジウム 次代を担う ー研究ー「臨床の疑問からはじまる理学療法研究」

第1会場 (10階 1003) 10:10~11:30

座長 岩田 晃 (大阪府立大学)

シンポジスト 佐藤 睦美 (大阪保健医療大学)

今岡 真和 (大阪河崎リハビリテーション大学)

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー ①（協賛：ミナト医科学株式会社）

第2会場（10階 1002） 11:40～12:30

座長 加藤良一（大阪市立大学医学部附属病院）

電気刺激による早期リハビリテーション

講師 岩津 弘太郎（枚方公済病院）

ランチョンセミナー ②（協賛：酒井医療株式会社）

第4会場（10階 1009） 11:40～12:30

座長 南部正英（酒井医療株式会社）

高齢者の筋機能低下とそのリハビリテーション

講師 下野 俊哉（日本リハビリテーション技術教育研究機構）

ランチョンセミナー ③（協賛：川村義肢株式会社）

第7会場（12階 1202） 11:40～12:30

座長 稲村一浩（星ヶ丘医療センター）

脳卒中患者の歩行再建

講師 脇田 正徳（関西医科大学附属病院）

卒業研究演題（ポスター）

第8会場（12階 ホワイエ） ポスター公開 9:30～15:30 発表・質疑応答 10:10～11:40

卒業研究① 第8会場（12階 ホワイエ） 発表 10:10～10:50

座長：田中 貴広（阪奈中央リハビリテーション専門学校）
山科 吉弘（藍野大学）

- S-1 腰痛症のある空手道選手の体幹筋力持久性について
村上 伊吹樹（大阪河崎リハビリテーション大学 リハビリテーション学部
リハビリテーション学科 理学療法学専攻）
- S-2 踵骨下脂肪体の機能にテーピングが及ぼす影響
林 美緒（森ノ宮医療大学 保健医療学部 理学療法学科）
- S-3 運動イメージ前の運動練習が脊髄神経機能の興奮性に与える影響
黒部 正孝（関西医療大学 保健医療学部 理学療法学科）
- S-4 遅発性筋肉痛に対する、アイシングが及ぼす筋硬度の効果
中原 優（大阪河崎リハビリテーション大学 リハビリテーション学部
リハビリテーション学科 理学療法学専攻）

卒業研究② 第8会場（12階 ホワイエ） 発表 10:50～11:40

座長：中尾 英俊（大阪河崎リハビリテーション大学）
相原 一貴（大阪保健医療大学）

- S-5 若年成人男性における暗順応時の重心動揺について
松並 耀平（四條畷学園大学 リハビリテーション学部 リハビリテーション学科
理学療法学専攻）
- S-6 ホームエクササイズ実施率に影響する因子は何か：自己効力感(Self-Efficacy)に着目して
中橋 玲那（森ノ宮医療大学 保健医療学部 理学療法学科）
- S-7 リバース型人工肩関節術後と健常肩の肩関節周囲筋の筋活動に違いはあるのか
今村 真（関西福祉科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科
理学療法学専攻）
- S-8 足圧中心位置を用いた視覚誘導性追従課題の学習は直立位安定化と関係する
山崎 志信（四條畷学園大学 リハビリテーション学部
リハビリテーション学科 理学療法学専攻）
- S-9 ホームエクササイズ実施率に影響する因子は何か：自己効力感と幸福感に着目して
長友 広一（森ノ宮医療大学 保健医療学部 理学療法学科）

ブロック推薦演題

第6会場（12階 特別会議場） 12:40～14:10

座長：二階堂 泰隆（大阪医科大学附属病院）
平沢 良和（関西電力病院）

- B-1 左脳幹梗塞後、移乗動作における介助量軽減を目指した一症例
大阪市南ブロック 佐藤 夏紀（富永病院）
- B-2 左後下小脳動脈の梗塞により運動失調を呈し、歩行時にふらつきを認めた症例：聴覚刺激により歩行のリズムを規定したアプローチ
北河内ブロック 原田 麻未（関西医科大学附属病院 リハビリテーション科）
- B-3 姿勢アライメントに着目した介入により短期間で歩容が改善した筋萎縮性側索硬化症の一症例
南河内ブロック 麻野 紗也加（近畿大学医学部附属病院 リハビリテーション部）
- B-4 開胸左下葉切除術後、イレウスを合併した一症例
大阪市北ブロック 徳元 翔子（公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院
リハビリテーションセンター）
- B-5 左人工股関節全置換術後歩容改善を目指した一症例：超音波画像診断装置を用い中殿筋の筋活動に注目して
三島ブロック 松本 龍弥（水無瀬病院）
- B-6 階段降段時に左足部前外側に疼痛を認めた左足関節三果骨折術後の一症例
泉州ブロック 橘 亮典（永山病院 リハビリテーション部）
- B-7 心理的問題をもつ腰痛患者にいきいきリハビリノートを使用し、自宅復帰に至った一症例
中河内ブロック 久司 裕貴（藤井会リハビリテーション病院）
- B-8 腓骨遠位端骨折後、関節可動域制限・動作時の違和感を呈した症例：運動器エコーを含めた評価・治療
堺市ブロック 長井 優貴（阪堺病院 リハビリテーション部）
- B-9 橈骨遠位端骨折、尺骨茎状突起骨折術後の遠位正中神経障害と手関節尺側部痛に対する理学療法
豊能ブロック 森 瞬彩（関西メディカル病院）

一般演題

運動器① 第2会場 (10階 1001-2) 10:10~11:10

座長：三浦 なみ香 (増原クリニック)

- 1 右大腿骨転子部骨折術後の一症例：右下肢の支持性の低下に着目して
桑原 直未 (守口生野記念病院)
- 2 右人工股関節感染によるインプラント抜去術後、両松葉杖歩行を獲得した一症例
村田 篤嗣 (大野記念病院)
- 3 大腿骨近位部骨折術後の症例を経験して：適切なアプローチを行なうには
酒井 直道 (辻外科リハビリテーション病院)
- 4 Short femoral nail 後、髓内釘が破損し偽関節を呈した症例における長期経過
初瀬 智之 (思温病院 リハビリテーション科)
- 5 超音波エコーガイド下の徒手療法が、 γ ネイル固定術後に残存する大腿外側部痛を改善する効果の検証
片山 尚哉 (大阪暁明館病院 リハビリテーション科)
- 6 脳卒中右片麻痺がある右人工骨頭置換術後患者の自宅復帰に向けた治療介入の工夫：自宅内での再転倒予防に向けて
橋 良幸 (星ヶ丘医療センター リハビリテーション部)

運動器② 第2会場 (10階 1001-2) 13:20~14:00

座長：今岡 真和 (大阪河崎リハビリテーション大学)

- 7 大腿骨頸部骨折受傷後の膝痛の割合とその特徴について
福本 祐介 (大阪暁明館病院 リハビリテーション科)
- 8 超音波画像診断装置を用いた股関節各肢位における外転運動課題時の小殿筋の筋厚変化量について
福田 大輔 (東大阪病院 リハビリテーション部)
- 9 3軸加速度計を用いた歩行時の股関節モーメントの推定
桂 智哉 (堺市立総合医療センター リハビリテーション技術科)
- 10 大腿骨転子部骨折により生じる退院時の大腿部痛の有無がADLに及ぼす影響
福元 雄貴 (加納総合病院 リハビリテーション科)

運動器③ 第2会場 (10階 1001-2) 14:05~14:35

座長：岡原 聡 (大阪急性期・総合医療センター)

- 11 不全四肢麻痺の患者に対しBWSTTを使用することでロフストランド杖歩行を獲得した一症例
堀 めぐみ (愛仁会リハビリテーション病院 リハ技術部 理学療法科)
- 12 ACSIVEにおける遊脚期補助がトレンデレンブルグ徴候に与える効果
北川 崇 (東大阪病院 リハビリテーション部)
- 13 屋外歩行自立を目標にBerg Balance Scaleの下位項目より必要な要素を検討した一症例
中来田 徹 (みどりヶ丘病院 リハビリテーション部)

運動器④ 第2会場 (10階 1001-2) 14:40~15:30

座長：小川 卓也 (八尾市立病院)

- 14 歩行能力の改善に難渋した全人工膝関節置換術後の一症例：既往の反対側全人工股関節再々置換術を考慮したアプローチ
岡田 紗也花 (星ヶ丘医療センターリハビリテーション部)
- 15 大腿骨顆上骨折を受傷後、自宅復帰に難渋した一症例：ポリオを既往にもつ高齢患者に対する多面的な介入
千葉 一貴 (星ヶ丘医療センター)
- 16 反復性膝蓋骨外側脱臼に対する再脱臼予防の治療戦略
大堀 健吾 (大阪鉄道病院)
- 17 両側外側変形性膝関節症に対し、左 TKA 術に Lateral Thrust を認めた症例
丸石 善久 (千船病院 リハビリテーション科)
- 18 膝伸展制限を有する変形性膝関節症の腓腹筋内側頭の動態評価
工藤 慎太郎 (森ノ宮医療大学 保健医療学部 理学療法学科)

運動器⑤ 第3会場 (10階 1008) 10:10~10:50

座長：東山 学史 (大阪回生病院)

- 19 両側同時人工股関節全置換術を施行し歩容改善に難渋した一症例：骨盤・脊柱アライメントに着目して
松本 拓也 (星ヶ丘医療センター リハビリテーション部)
- 20 既往の股関節固定術を THA へ移行した両側 THA 患者：胸腰椎にアプローチし歩行安定性を獲得した一症例
山本 准 (星ヶ丘医療センター)
- 21 移動手段獲得に難渋した大腿切断症例の経験
関山 貴士 (松下記念病院 リハビリテーション科)
- 22 下腿切断患者に対し、非切断側機能向上を図り義足歩行に至った一症例
津野 沙也加 (愛仁会リハビリテーション病院)

運動器⑥ 第3会場 (10階 1008) 10:55~11:35

座長：大野 直紀 (りんくう総合医療センター)

- 23 超音波画像診断装置を用いた胸腰椎圧迫骨折患者に対する腹横筋の評価
横森 正喜 (清仁会 水無瀬病院 リハビリテーション部)
- 24 超音波エコーによる骨盤底筋群・腹横筋の同時収縮評価の試み
井上 花奈 (東大阪病院 リハビリテーション部)
- 25 脊椎圧迫骨折受傷後の腰痛再発率と再発者の特徴について
前田 貴基 (大阪暁明館病院 リハビリテーション科)
- 26 首下がり症候群を呈した変形性頸椎症患者に対して運動療法を行い歩行時首下がり症状の改善を認めた1症例
倉持 右京 (大阪鉄道病院 リハビリテーション科)

基礎① 第3会場 (10階 1008) 13:20~14:00

座長：藤堂 恵美子 (巽病院訪問看護ステーション)

- 27 高齢者の二重課題歩行時間と転倒の関係性：認知機能に着目して
前田 智紀 (守口生野記念病院)
- 28 健常若年男性における筋肉量の数値的意義の検討
米田 哲也 (高槻病院 技術部 リハビリテーション科)
- 29 運動リズムの違いが大腿外側部における組織間の滑走性へ及ぼす影響
河西 謙吾 (森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科)
- 30 Inertial Sensor を使った歩行立脚後期における足関節機能の評価
宮下 敏紀 (森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科)

生活支援 第3会場 (10階 1008) 14:05~14:35

座長：安岡 実佳子 (ツイズリハビリ訪問看護ステーション)

- 31 閉じこもり傾向にあった高齢者に対して生活の再構築を可能にした理学療法実践：脱臼不安感、運動と食への関心に着目して
田淵 真由美 (池田病院 総合リハビリテーションセンター)
- 32 大阪府北河内ブロック脳卒中定期勉強会参加者の装具療法に対する認識調査
宮下 創 (星ヶ丘医療センター リハビリテーション部)
- 33 地域在住高齢者における転倒とフレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームの関連について
今岡 真和 (大阪河崎リハビリテーション大学)

教育・管理 / 基礎② 第3会場 (10階 1008) 14:40~15:30

座長：杉山 恭二 (大阪府立大学地域保健学域)

- 34 診療参加型実習が実習生の抑うつ状態に与える影響について
小原 滉平 (大野記念病院)
- 35 CCS 場面での認知スキル指導に対するチェックリストの有効性
森下 宗之 (フジタ病院 リハビリテーション科)
- 36 利き足と非利き足における足趾把持力と足部柔軟性の比較
高見 武志 (城山病院 リハビリテーション科)
- 37 荷重下における体幹の筋機能評価の開発
横森 正喜 (森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科)
- 38 肩甲下筋等尺性収縮時の前上腕回旋動脈血流量の変化
兼岩 淳平 (東大阪病院 リハビリテーション部)

内部障害① 第4会場 (10階 1009) 10:10~11:10

座長：道脇 理嘉 (慶生会訪問看護ステーション四條畷サテライト)

- 39 COPD 患者に対して運動療法に神経筋電気刺激を併用し著効した一症例
井崎 大翼 (岸和田盈進会病院 リハビリテーションセンター)
- 40 肺炎より入院し、呼吸困難感と倦怠感が強く臥床傾向であった COPD 患者
野村 知里 (公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 リハビリテーションセンター)
- 41 肺胞出血による呼吸不全患者に対し、運動療法および退院時指導により運動耐容能向上を認めた症例
山崎 元晴 (高槻病院 技術部 リハビリテーション科)
- 42 超高齢重症肺炎患者に対して超急性期から病期と栄養状態に応じた理学療法を行ったことで自宅復帰に至った例
近藤 有希 (高槻病院 技術部 リハビリテーション科)
- 43 COPD 患者に対する Life-Space Assessment を利用した身体活動量評価の有用性の検討
水澤 裕貴 (近畿大学医学部附属病院 リハビリテーション部)
- 44 呼吸筋トレーニングが横隔膜動態や肺機能に与える即時効果についての検討
白石 匡 (近畿大学医学部附属病院 リハビリテーション部)

内部障害② 第4会場 (10階 1009) 13:20~14:00

座長：山田 忠明 (大阪府済生会吹田病院)

- 45 超高齢心不全に伴いフレイルを呈した患者への運動療法の有効性
村田 涼 (浅香山病院 リハビリテーション室)
- 46 退院後も息切れが残存していたうつ血性心不全患者：外来心臓リハビリテーションに着目して
濱本 大輝 (守口生野記念病院 リハビリテーション科)
- 47 冠動脈インターベンション後の心臓リハビリテーションが運動耐容能と不整脈の改善に有用であった心不全例
井波 志帆 (松下記念病院 リハビリテーション科)
- 48 食道癌術後合併症発症後、早期に全身持久力訓練へ移行できた症例
釜田 千聡 (近畿大学医学部附属病院 リハビリテーション部)

内部障害③ 第4会場 (10階 1009) 14:05~14:35

座長：高 重治 (ベルランド総合病院)

- 49 クリーンルーム内での身体活動状況からみた理学療法の検討：急性骨髄性白血病の一症例を通して
山上 拓 (大阪鉄道病院 リハビリテーション科)
- 50 白内障体験ゴーグル装着による重心動揺軌跡の変化
角田 晃啓 (森ノ宮医療大学 保健医療学部 理学療法学科)
- 51 内部疾患急性期治療後の起立、歩行の安定性低下の要因となっている関節可動域とアライメントの問題
榊井 貴史 (神原病院)

運動器⑦ 第4会場 (10階 1009) 14:40~15:20

座長：小坂 健二 (河内総合病院)

- 52 全人工膝関節置換術後患者に対する後進歩行の介入効果が見られた1症例
小池 一成 (阪和第二泉北病院 リハビリテーション部)
- 53 軸足のアラインメント不良によりキック動作時に疼痛を認めたサッカー選手の一症例
法所 遼汰 (牧整形外科病院 リハビリテーション科)
- 54 階段降段動作において左踵離地直前に左膝関節前面に疼痛が生じる左脛骨高原骨折患者の一症例
掘口 怜志 (医療法人寿山会 法人リハビリテーション部)
- 55 両側大腿骨骨幹部骨折を受傷し、術後早期の移乗動作の獲得が困難であった一症例
木村 友紀 (松下記念病院 リハビリテーション科)

神経① 第6会場 (12階 特別会議場) 10:10~10:50

座長：森下 健 (大阪回生病院)

- 56 悪心により離床が難渋した小脳出血症例に対する急性期理学療法
中野 佳樹 (星ヶ丘医療センター)
- 57 転移性脳腫瘍により重度左片麻痺と pusher 現象を呈した一症例の座位安定性向上を目指した取り組み：全身状態の考慮と環境設定の工夫に着目して
遠藤 弘章 (星ヶ丘医療センター リハビリテーション部)
- 58 線条体黒質変性症患者の足部クリアランス改善に向けて介入を行った一症例
堀本 みづき (森之宮病院 リハビリテーション部)
- 59 心停止により、低酸素脳症を呈した症例：覚醒向上、車椅子離床下での食事摂取に向けて
田中 真織 (わかくさ竜間リハビリテーション病院)

神経② 第6会場 (12階 特別会議場) 10:55~11:35

座長：長谷 和哉 (近畿大学医学部附属病院)

- 60 右放線冠梗塞による軽度の運動麻痺で動揺歩行を認めた一症例における小型無線多機能センサーを用いた歩行の検討
中村 友太郎 (星ヶ丘医療センター リハビリテーション部)
- 61 回復期脳卒中患者に対する末梢神経電気刺激と家庭用ゲーム機を用いた運動療法がバランス能力に与える影響：2症例での検討
奥野 博史 (岸和田盈進会病院 リハビリテーションセンター)
- 62 発症48時間以内の起立を含むリハビリテーションが脳卒中後のADLに及ぼす効果
山本 洋司 (関西電力病院 リハビリテーション部)
- 63 くも膜下出血患者の離床時期と退院時FIM
松木 良介 (関西電力病院 リハビリテーション部)

神経③ 第6会場 (12階 特別会議場) 14:15~14:45

座長：山田 賢次 (ベルピアノ病院)

- 64 感覚性運動失調を呈した脊髄炎患者に対する部分免荷トレッドミル歩行訓練の即時効果

勝田 直也 (大阪医科大学附属病院 リハビリテーション科)

- 65 左坐骨部褥瘡の増悪により外科的手術を施行した一症例に対する理学療法士としての関わり

島袋 尚紀 (星ヶ丘医療センター リハビリテーション部)

- 66 Action observation therapyにより歩容改善に至った脊髄不全損傷の一症例

熊原 啓 (城山病院 リハビリテーション科)

運動器⑧ 第6会場 (12階 特別会議場) 14:50~15:30

座長：田中 暢一 (ベルランド総合病院)

- 67 交通事故によって中足骨骨折を呈した一症例：歩行動作に着目して

後藤 伶奈 (守口生野記念病院 リハビリテーション科)

- 68 視覚障害を有した足関節外果骨折患者の走行再獲得を目指した一症例：視覚障がい者マラソン参加に向けての試み

佐伯 訓明 (大阪回生病院)

- 69 外傷後足関節機能障害により瘢痕拘縮を呈した一症例：超音波診断装置を含めた評価と治療を経験して

木下 敬詩 (近畿大学医学部附属病院 リハビリテーション部)

- 70 踵骨開放骨折後に長母趾屈筋腱の滑走障害により足関節背屈可動域制限を呈した一症例：超音波エコーを用いた評価と理学療法への応用

出原 祐輔 (葛城病院 リハビリテーション部)

神経④ 第7会場 (12階 1202) 10:10~11:10

座長：角田 朋子 (大阪府済生会千里病院)

- 71 重度のpusher現象を呈した脳卒中患者に対する発症早期からの部分免荷トレッドミル歩行練習の効果

志戸岡 大起 (大阪医科大学附属病院 リハビリテーション科)

- 72 アテローム血栓性脳梗塞により歩行安定性低下した症例：4点杖に着目して

久保田 詩織 (守口生野記念病院)

- 73 立脚後期の股関節伸展を形成しぶん回し歩行改善を図った一症例

佐川 裕哉 (愛仁会リハビリテーション病院)

- 74 脳出血により重度運動麻痺・感覚障害を呈した一症例：自宅復帰を目指して

小澤 茉侑 (星ヶ丘医療センター)

- 75 重度脳卒中患者に対する両側長下肢装具での介助歩行練習が骨格筋量に及ぼす影響

平山 貴士 (岸和田盈進会病院 リハビリテーションセンター)

- 76 短下肢装具着用の有無により歩行速度に著しい差異を認められた脳卒中片麻痺の一症例：独歩獲得を目指して

小笠原 峻 (星ヶ丘医療センター)

神経⑤ 第7会場 (12階 1202) 13:20~14:00

座長：山田 一貫 (みどりヶ丘病院)

- 77 右被殻出血により足部クリアランス低下を呈した症例：個人因子に応じた環境設定下での課題指向型歩行トレーニング
浦上 慎司 (星ヶ丘医療センター リハビリテーション部)
- 78 脳梗塞後の視覚軸：鏡による軸修正
富野 沙綾 (馬場記念病院 リハビリテーション部)
- 79 麻痺側足関節への重錘負荷歩行訓練で麻痺側足部引っ掛かりが消失した：脳卒中片麻痺例での検討
相原 伸哉 (ペガサスリハビリテーション病院)
- 80 徒手療法を中心に治療を行い麻痺が改善した1症例
福田 志保 (介護老人保健施設パークサイドなごみ)

神経⑥ 第7会場 (12階 1202) 14:05~14:45

座長：木下 篤 (さくら会病院)

- 81 慢性片麻痺患者に対し洗濯動作改善を目標とした症例報告
三島 あずさ (ポバース記念病院)
- 82 施設退院に向けてトイレ移乗動作獲得を目指した1症例
長田 末世 (みどりヶ丘病院 リハビリテーション部)
- 83 4点杖歩行動作において左後方へ転倒傾向を認める右被殻出血の1症例
山下 直樹 (介護老人保健施設ヴァンベール)
- 84 右視床出血により左片麻痺を呈した1症例：他職種連携と退院支援に着目して
山岡 祐太 (第二東和会病院 リハビリテーション科)

運動器⑨ 第7会場 (12階 1202) 14:50~15:30

座長：瀬尾 充弘 (島田病院)

- 85 上腕三頭筋腱付着部断裂に対するBunnel縫合術後の早期運動療法経験
宇多 恵一郎 (関西電力病院 リハビリテーション部)
- 86 肩甲骨内転筋の機能と内側型野球肘との関連性：超音波検査装置を使用して
野田 逸誓 (Nクリニック)
- 87 TFCC鏡視下縫合術後12週時のDASHに影響を及ぼす因子の検討
谷岡 篤 (関西電力病院 リハビリテーション部)
- 88 肩腱板断裂術後患者の主観的評価の満足度と機能評価実測値の関連性：Shoulder36を用いて
上谷 佑稀 (伊藤クリニック 大阪ショルダーセンター リハビリテーション科)